

社会貢献活動

当社グループは、環境保護、公共福祉、文化など、地域社会のニーズに応じた社会貢献活動を行うことで、良き企業市民としての責任を果たしています。

2022年度は、グループ全体で75件の社会貢献活動を行いました。その中から日本および欧州・中近東・アフリカ本部、KWEベトナム、KWEインドの活動をご紹介します。

日本および欧州・中近東・アフリカ本部

2023年2月にトルコ・シリア国境付近で発生した地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。この地震による人道的危機を受け、当社グループは救援・復興活動を支援するため、国際赤十字および日本赤十字社を通じ、総額約912万円の寄付を行いました。被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

寄付先

日本赤十字社 500万円 株式会社近鉄エクスプレス
国際赤十字 EUR30,000(約412万円)
同、欧州・中近東・アフリカ本部傘下12法人



KWEベトナム

KWEベトナムは現地で事業展開するTOTO VIETNAM Co., Ltd.様による「学校建設プロジェクト」に参加しており、2022年12月にはマンヤン県のコンチエン第2小学校新校舎が落成しました。ベトナムでは急速な経済発展に伴い人口が増加する一方、特に山間部において教育施設や就学環境の整備が十分進んでいない状況です。この環境を改善し、現地社会に貢献するという理念に強く共感したKWEベトナムは2021年より同プロジェクトに参加し、コンチエン第2小学校では新校舎の建設と運動場の改修により、300人以上の児童が安全な環境で生活・学習できるようになりました。今後も同プロジェクトに積極的に参加し、ベトナム社会に貢献していきます。



新校舎



新設された教室

KWEインド

KWEインドは、孤児のための生活施設や教育環境の整備等に取り組むNGOの活動に約2年前より参加しており、これまでチェンナイ市の15の孤児生活施設にバイオガスプラントを寄贈してきました。家庭の生ごみ等をメタン発酵させ生成したバイオガスはLPGの代替燃料として料理時に使用でき、しかも熱効率性に優れることから化石燃料の使用削減にもつながります。加えて、その残滓は養分豊富で安全な有機肥料になり、穀物や花、農産物の栽培に利用できるほか、長期的には農地の肥沃度や生産性を高めることができます。2023年6月にはグルグラム地域でも同活動に参加しました。今後もこの活動を継続していきます。



チェンナイでの寄贈式



バイオガスを使って調理する